

日本共産党
滋賀県議

杉本としたか県政レポートNo.47

日本共産党の杉本としたか県議は 9 月 29 日、県議会本会議において①滋賀県の旧統一協会系団体イベント後援と寄付金受領②議員の圧力を受けた食肉問題での県の対応③高時川の濁りについて、知事等に質問しました。

杉本県議
が追及

滋賀県が統一教会の団体から寄付金受領

昨年 12 月 11 日に守山市内で開かれた「ピースパートナーフェス西日本 2021 イン滋賀」は世界平和青年学生連合滋賀連合会や滋賀県平和大使協議会などの旧統一協会関連団体が関わっているにもかかわらず、滋賀県が後援し、「本年 1 月 25 日にこの団体からイベントの収益 140,475 円をご寄付いただいた」と県のホームページに掲載しています（右写真）。



後援を取消し、寄付金を返還せよ

杉本県議の「この団体が旧統一協会関連団体だという認識はなかったのか」との質問に対し、知事は「認識はなかったと聞いているが、現在は関係の団体の人たちだという情報は持っている」と答えました。杉本県議は「統一協会は、靈感商法や多額の献金で被害者を生んでいる反社会的な詐欺集団だ。さかのぼって後援を取り消し、寄付金を返還し、県ホームページの寄付金贈呈式の写真を即刻削除すべきだ」と追及しました。

知事「寄付金は返還しない」

三日月知事は「基準に反するような事実が確認できないのでイベント後援の取り消しの考えはない」「寄付そのものに問題があっ

たとは言えず、返還は考えていない」と強弁。贈呈式のホームページの削除についても「現時点では考えていない」と答弁。

滋賀県が統一協会の広告塔になっている！！

杉本県議は「非常に認識が甘い。この団体は、イベントによって結びついた人を引き込み、信者にし、預金と資産を奪い取るのが目的だ。県がこの団体に市民権を与え、被害者を生むことに加担する広告塔になっていることを認識すべきだ」と指摘しました。知事は「こういったことが考えられるというのは、あくまで議員がお考えになることであって」と答弁。自民党の幹事長さえ「関係を断つ」と言っているのに、滋賀県が統一協会の団体とこのような関係を持つことで広告塔になっていることが認識できないようでは、知事としての資質が疑われます。メディアでは連日、旧統一協会による一家離散、家族の自殺など深刻な被害が報道され、関係した政治家の責任が問われている最中に、滋賀県がこのような実態でいいのでしょうか。



続発する不適切な政務活動費支出…エリを正せ！

政務活動費検討委員会の設置を提案

滋賀県議会における政務活動費の不適切な支出と疑われる事案が相次いで報道されています。日本共産党県議団は 9 月 26 日、議会が自浄作用を発揮するため政務活動費の検討委員会を設置することを議長に申し入れました。



大野議員の異常な県政報告発行費を告発

党県議団は、過去 5 年間の大野和三郎議員の県政報告発行費が、他の議員と比べて異常に高い金額になっていることを告発。過去 5 年間の B3 版県政報告 7 種だけでも約 340 万円も多く支出されている疑いがあります。

不適切支出への対応まちまち

問われる議員の政治姿勢

「不適切な支出」と指摘されたことに対して、議員の対応が分かれています。清水議員、目方議員、小川議員はきっぱりと返還しました。有村議員は、「事務所として使っている実態がある」と表明しています。他の議員は返還にふれながらもケジメをつけていないなど対応が問われています。過ちでは改むるに憚（はばか）ることなかれ…議員としての政治姿勢が問われています。

政務活動費の不適切な支出（対応は 2022 年 10 月 4 日現在）

議員	会派	内容	金額	対応
佐口佳恵	チームしが	行政書士専門書の購入	155,000	なし
柴田清行	自民党	自己所有建物に家賃	384,000	なし
		統一協会系団体行事参加	13,390	
目方信吾	自民党	統一協会系団体行事参加	51,940	返還
白井幸則	自民党	統一協会系団体行事参加	500	なし
清水ひとみ	公明党	統一協会系団体行事参加	1,120	返還
小川泰江	チームしが	事務所に看板なし	376,267	返還
有村國年	自民党	事務所に看板なし		
大野和三郎	無所属	県政報告発行費の異常支出		

高時川の異常な濁りについて

高時川が8月5日の大雨によって一部地域で氾濫しましたが、それ以降、川の濁りが異常です。5年前にも本会議でとりあげましたが、根本的な解決は全く図られていません。右の写真は、高時川と姉川の合流点で、濁った高時川・澄んだ姉川。5年前と同じ状況が確認できます。

9月25日に川を遡って上丹生まで視察にいきましたが、50日経過しても、上流へ行くほど濁りが酷くなっています。杉野川の澄んだ清流と高時川の濁水が対照的です。濁りの長期化は河川漁協の死活問題となり、水系と琵琶湖への悪影響も深刻です。なぜ県内でこの川だけ異常な濁りに見舞われているのか。その元凶に今は閉鎖されているスキー場開発があるとみられます。一般質問でとりあげました。



高時川と姉川合流点



漁業と環境への影響は深刻

高時川にある2つの河川漁協は8月5日以降営業できず、死活問題となっています。2漁協は8月30日、異常濁水に対する要望書を知事に提出されました。

アユやビワマスへの影響も深刻です。木之本町古橋の頭首工から取水された濁水が地域の集落を流れる川に広がり、環境と景観にも悪影響を及ぼしています。



ベルク余呉スキー場跡地



5年前の12月議会で高時川の濁りの問題を取り上げた時、県当局は「原因の究明に努め、必要に応じて、さらなる土砂の流出を防ぐための対策を検討する」としていました。杉本県議が5年間の対策を問うと、知事は「原因の特定に至っていない。土砂流出防止を促す適正な森林整備を行い、ニホンジカの捕獲に取り組んだ」と答弁。

元凶はスキー場

杉本県議は「5年間に根本的な対策はとられてこなかった。この問題の元凶に、高時川上流のスキー場開発があるという認識をもっているか」と質問。知事は「スキー場



跡地のみが原因であると特定することは難しい」と答弁。

責任の所在を明確にし、早急な対策をとれ

これまで県は、この地域の地質が古生層でもろいことやニホンジカの食害を原因にあげていましたが、スキー場については全く触れてきませんでした。8月5日の豪雨は短時間で90mmという猛烈な降雨でした。5年前の8月7日の豪雨の時も同じ状況です。スキー場から高時川に合流する大音波川に一気に土砂が流れ込み、濁水が出る。その土砂が高時川の底や岸辺に残り、雨が降れば濁りが出る。だから長期に川が濁るという状況になっているようです。今後も集中豪雨があれば、これが繰り返されることになります。

スキー場の開発を許可したのは滋賀県です。開発業者にも責任があります。最近、このスキー場跡地を買収した風力発電業者が、植栽で土砂流出を防ぐ対策工事を始めていましたが、今回の豪雨で流れてしまったと言われています。

杉本県議は「民間まかせでなく、県が責任ある抜本的対策をしっかりとるべきだ」と強く主張しました。